

# 2020年度 同志社大学大学院 司法研究科

## 前期日程入学試験問題 法律科目試験

### (憲 法)

---

#### 第1問 (配点：50点)

社会福祉法人Aの運営するB保育園の保育士Cについて、D新聞発行の朝刊に、園児を虐待しているとの記事（以下「本件記事」という。）が掲載された。CはDに対して、謝罪広告の掲載と慰謝料の支払いを求める訴えを提起した。Dは、記事は公共の利害に関し、専ら公益を図る目的のもので、内容は全て真実で、真実でないとしても、事前に十分な裏付け取材を行っており、真実と信ずるについて相当の理由があったと主張している。

Dは、上の主張事実を立証するため、本件記事を執筆した記者Eを証人として申請し、D側の主尋問に対しEは、B保育園の保育士以外の職員5名のうち3名から取材したこと、および、所轄署の刑事数名からも取材した旨の証言をした。

しかし、C側が、反対尋問で、取材先の氏名等を明らかにするように求めたところ、Eは証言を拒絶した。

このEの証言拒絶は認められるか。民事訴訟における記者の証言拒絶に関する最高裁判所の立場について説明した上で、論じなさい。

#### 第2問 (配点：50点)

条約の締結とその承認および予算の作成と議決に関する憲法の定めについて説明した上で、条約および予算に関する国会の修正権について論じなさい。